

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: コレラ 3 例 (感染地域: インド 2 例、インド/カンボジア/ラオス/タイ/韓国 1 例)、細菌性赤痢 5 例 (感染地域: 国内 1 例、インド 2 例、ブータン 1 例、ニューカレドニア 1 例)、腸チフス 2 例 (感染地域: とともにインド)、パラチフス 2 例 (感染地域: とともにインド)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 30 例 (うち有症者 20 例、HUS なし) [感染地域: 国内 29 例、国外 1 例 (インドネシア/アフガニスタン) 国内の多い感染地: 秋田県 (11 例)、佐賀県 (4 例) 年齢群: 10 歳未満 (9 例)、10 代 (9 例)、20 代 (4 例)、30 代 (2 例)、40 代 (1 例)、50 代 (4 例)、80 代 (1 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (15 例)、O157 VT2 (5 例)、O26 VT1 (4 例)、O157 VT1 (2 例)、O111 VT1・VT2 (1 例)、O121 VT1 (1 例)、O152 VT1・VT2/O157 VT1・VT2 (1 例)、その他/不明 (1 例)]
- 4 類感染症: E 型肝炎 2 例 (感染地域: 北海道 1 例、ネパール 1 例、感染源: とともに不明)、A 型肝炎 5 例 (感染地域: 新潟県 2 例、大阪府 1 例、広島県 1 例、フィリピン 1 例)、つつが虫病 6 例 (感染地域: 秋田県 3 例、福島県 2 例、山形県 1 例)、デング熱 1 例 (デング熱\_\_感染地域: タイ)、マラリア 3 例 (三日熱 1 例\_\_感染地域: インド、四日熱 1 例\_\_感染地域: 中央アフリカ、熱帯熱 1 例\_\_感染地域: ナイジェリア)、レジオネラ症 4 例 (すべて肺炎型) [年齢群: 40 代 1 例、50 代 1 例、60 代 2 例 感染地域: 新潟県 1 例、長野県 1 例、山口県 1 例、中国 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 10 例 (腸管アメーバ症 6 例、腸管外アメーバ症 4 例) [感染地域: 国内 6 例、インドネシア 1 例、ブラジル 1 例、国外 (国不明) 1 例、国内/国外 1 例 感染経路: 経口 4 例、性的接触 3 例 (すべて異性間)、不明 3 例)、ウイルス性肝炎 1 例 (B 型\_\_感染経路: 不明)、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例 (孤発性プリオン病 (古典型 CJD) 1 例、遺伝性プリオン病 (家族性 CJD) 1 例)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例 [(50 代 1 例、70 代 2 例、80 代 1 例、血清群: A 群 3 例、C 群 1 例、うち 2 例死亡)、後天性免疫不全症候群 15 例 (無症候 9 例、AIDS 5 例、その他 1 例) [感染経路: 性的接触 13 例 (異性間 4 例、同性間 8 例、異性間・同性間不明 1 例)、不明 2 例 感染地域: 国内 11 例、フィリピン 1 例、国外 (国不明) 3 例)、ジアルジア症 2 例 (感染地域: インド 1 例、バングラデシュ 1 例)、梅毒 8 例 (早期顕症 1 期 2 例、早期顕症 II 期 2 例、無症候 4 例)、破傷風 1 例 (60 代)]

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では愛媛県 (2.9)、沖縄県 (2.2)、岡山県 (2.1)、秋田県 (2.0) が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 108 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 79% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い。都道府県別では福井県 (1.5)、岐阜県 (1.4)、鹿児島県 (1.4)、香川県 (1.2) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では新潟県 (4.2)、茨城県 (3.9)、北海道 (3.8)、宮崎県 (3.6) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福井県 (11.5)、三重県 (10.7)、大分県 (9.8) が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県 (5.7)、宮崎県 (5.7)、佐賀県 (5.2)、徳島県 (4.6) が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では岐阜県 (1.00)、徳島県 (1.00)、三重県 (0.91)、香川県 (0.91) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では島根県 (1.09)、福島県 (1.06)、青森県 (0.95) が多い。百日咳の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では徳島県 (0.13)、福島県 (0.06)、島根県 (0.04) が多い。風しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では島根県 (0.04)、宮崎県 (0.03) が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鳥取県 (1.32)、愛媛県 (1.08)、山口県 (0.98)、熊本県 (0.98) が多い。麻しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では茨城県 (0.11)、千葉県 (0.04)、島根県 (0.04) が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鹿児島県 (4.8)、山梨県 (4.3)、鳥取県 (4.3) が多い。基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県 (2.0)、大阪府 (1.9)、石川県 (1.6)、岡山県 (1.6) が多い。成人麻しんは、北海道から 1 例の報告があった。

	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	1) インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	2) 麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県	2.9		.9	1.5	6.0	3.4	.5	.1	.9			1.1		1.1	.3	3.5	.2		.8			
近畿	香川県	1.6		1.2	.7	5.4	1.7	.9	.3	.4			.1	1.3		1.7						
	徳島県	1.4		.3	.7	4.2	4.6	1.0	.1	.8	.1		.6	2.7		.3						
	高知県	.1		.2	.8	4.3	3.5	.3	.2	.6	.0		.3	1.0		1.3	.1					
全国	.6	.0	.6	2.0	5.8	3.2	.2	.4	.6	.0	.0	.3	.0	1.6	.1	1.3	.0	.0	.4		.0	
北海道	1.9	.1	.6	3.7	3.7	2.7	.0	.2	.5	.0		.0		1.8	.0	.8					.0	
東北	1.0	.1	.3	1.9	5.8	2.5	.1	.6	.5	.0			.2	1.5	.1	1.1		.0	.6			
関東	.1	.0	.5	2.4	5.7	3.0	.1	.5	.7	.0	.0	.3	.0	1.2	.2	1.7	.0	.0	.5			
甲信越北陸	.4	.0	.6	3.0	7.6	3.8	.2	.3	.5	.0	.0	.2		2.9	.0	1.1			.5			
東海	.3	.0	.6	1.8	5.2	3.4	.8	.5	.7		.0	.2	.0	1.3	.0	.5	.0	.1	.4			
近畿	.6	.0	.9	1.4	6.2	3.0	.2	.2	.6	.0	.0	.3		1.2	.0	1.0	.0	.0	.5			
中国四国	1.2	.0	.7	1.4	6.0	2.9	.3	.3	.6	.0	.0	.5	.0	1.7	.0	1.8	.0	.0	.4			
九州沖縄	.7	.1	.8	1.8	5.9	3.9	.2	.4	.8	.0	.0	.5		1.9		1.9	.1	.2				

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (5月18日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

